

安全・快適・省エネを追求した 「80000形」3次車を導入します 11月2日営業運転開始

新京成電鉄では、新造車両1編成を導入し、11月2日(水)より、新京成線の松戸駅～京成津田沼駅間で営業運転を開始する予定です。

「80000形」は、京成グループ標準車両として「～受け継ぐ伝統と新たな価値の創造～」をコンセプトに設計され、2019年12月に1次車を導入。2021年11月に2次車を導入しました。

当形式は、新京成電鉄がこれまで積極的に採用し続けた先進的な技術を核とし、更なる安全性、快適性、バリアフリー機能の向上につながる設備や最新の省エネ機器を導入している車両です。なお、当形式は置き換え車両と比べて年間で約45%の電力消費量を削減できる見込みです。

新京成電鉄は、持続可能な社会を目指して、今後もさまざまな取り組みを進めてまいります。



今回導入する80000形(3次車)

【80000形3次車の概要】

- ◆名称 80000形(3次車)
- ◆営業開始日 2022年11月2日
- ◆主な特徴
 - ・外観デザインは質実さ、実用本位を基本としつつ、やわらかさを醸し出すため、丸みを帯びた形状にしています
 - ・カラーリングは上部にジェントルピンクのラインを配色し、高架区間走行時も当社のコーポレートカラーが周囲から見えるようしました
 - ・車内には、安全性の向上のため、各車両に3台の防犯カメラを設置しました
 - ・フリースペースの設置や2画面化したLCD(液晶)車内案内表示器、空気浄化装置を搭載しました
 - ・フルSiC適用VWF制御装置や編成ブレーキ制御など、更なる省エネルギー化も実現しました
- ◆お問い合わせ お客さま案内番号 047-389-1249 (平日の9時～12時・13時～17時30分)

